

# ナナジウム



## 1.セット内容

- ◆数字カード…12枚 (0,1…各1枚 2,3,4,5,6…各2枚)
- ◆得点カード…1枚
- ◆チップ…12個 (4色各3個)

## 2.ストーリー

ナナジウム——それはたった7グラムで日本で使用される電気10年分を生み出すという夢の物質。科学者にとってナナジウムの合成は最高の名誉である。誰よりも早く合成を成功させて、握み取れ！ノーベル賞！

## 3.ゲームの目的

カード2枚を自分の場に出して、その合計値を競います。7が一番近い人は『ノーベル賞』をゲット！7が一番遠い人は『イグノーベル賞』をゲット！ノーベル賞の受賞者を当てた人は『予想点』をゲット！人数分ラウンドを行い、より得点の高いプレイヤーが勝利となります。

## 4.ラウンドの準備(4人用ルール)

- ①数字カード12枚をよくシャッフルしてから全員に1枚ずつ配ります。配られた数字カードは各自の手元に表向きで置きます。
- ②場に数字カードを表向き1枚、裏向き2枚で置きます。残った数字カードは山札とし、得点カードと一緒に中央に置きます。
- ③各自好きな色を1色選び、チップ3個を受け取ります。チップは下記3か所に置きます。
  - i) プレイヤーマーカーとして自分の手元に置きます。
  - ii) 投票チップとして自分の手元に置きます。
  - iii) 得点カウント用のコマとして得点カードの0の場所に置きます。
- ④誕生日が7月7日に一番近い人がスタートプレイヤーとなりラウンドを開始します(時計回りに進行します)



## 5.ラウンドの流れ(4人用ルール)

### ◀ a.ドラフトフェイズ▶

- ①スタートプレイヤーは山札からカード2枚を引き、他プレイヤーには見えないように内容を確認します。その中から1枚を選び自分の手元に裏向きのまま置きます(手元のカードは表向き1枚、裏向き1枚となります)残った1枚は左隣のプレイヤーに裏向きのまま渡し、手番を終了します。
- ②次プレイヤーは先番プレイヤーからカードを受け取った後、山札からカード1枚を引きます。合わせて2枚となったカードを他プレイヤーには見えないうように確認し、その中から1枚を選び自分の手元に裏向きで置きます。残った1枚は左隣のプレイヤーに裏向きのまま渡し、手番を終了します。これを全員の手元にカード2枚が置かれるまで続けます。  
※ラストプレイヤーは残った1枚を裏向きのまま山札に戻します。

### ◀ b.予想フェイズ▶

- ①スタートプレイヤーは中央の裏向きに置かれた2枚の中から1枚を選び他プレイヤーには見えないう内容を確認します。
- ②ノーベル賞受賞者(2枚の合計値が7が一番近い人)を予想します。自分の置いたカードや、b①で確認した内容を踏まえてノーベル賞を受賞しそうだと思う人の元へ投票チップを置き、手番を終了します。  
※投票チップは自分へ置くこともできます。  
※投票チップは、プレイヤーマーカーと混ざらないように、プレイヤーの手元で表向きになっているカードの上に置くことを推奨します。
- ③次プレイヤー以降も同様のことを行います。全員が投票チップを置き終わったら、予想フェイズは終了となります。

### ◀ c.得点フェイズ▶

- ①「〇〇ジウム!」と宣言して、全員一斉に手元の裏向きのカードを表にします。  
※〇〇は自分のカードの合計値となります。合計値が7ならば「ナナジウム!」と宣言します。
- ②下記に従い得点計算を行います。

#### ◆ノーベル賞

手元の2枚の合計値が7が一番近い人は2点を獲得します。

#### ◆イグノーベル賞

手元の2枚の合計値が7が一番遠い人は1点を獲得します。

※バッティングした人はノーベル賞、イグノーベル賞を獲得できません。バッティングしていない人の中で、より条件に近い人が獲得します。(バッティング: 手元の2枚の合計値が他人と同じこと)

※7への近さ(遠さ)が同じ場合、より先番が得点を獲得します。  
例) Aが5、Bが9だった場合、7への近さは同じです。  
その場合スタートプレイヤーであったAがノーベル賞となります。

※ノーベル賞、イグノーベル賞を同時受賞する場合があります。  
例) Aが10、それ以外のプレイヤー全員は6でバッティング。

#### ◆予想点

ノーベル賞受賞者を当てた人は下記計算をして得点を獲得します。  
【プレイヤー数】 - 【ノーベル賞受賞者に置かれたチップ数】

※4人プレイで4人全員が同じ人に投票し、受賞者を当てた場合【4-4=0】となり予想点はありません。

#### ◀ 得点計算の例▶

- バッティングしたA、Bはノーベル賞、イグノーベル賞を獲得できません。
- 7が一番近いDが『ノーベル賞2点』を獲得します。
- 7が一番遠いCが『イグノーベル賞1点』を獲得します。
- B、Dは予想点として2点ずつ獲得します。  
【プレイヤー数: 4】 - 【受賞者に置かれたチップ数: 2】 = 2点

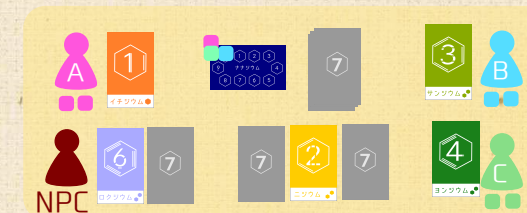


③得点を得点カードに反映し、ラウンドを終了します。  
(このa.~c.までの一連の流れをラウンドと呼びます)

④スタートプレイヤーの左隣が新たなスタートプレイヤーとなり、次ラウンドを行います。人数分ラウンドを行い、より得点の高いプレイヤーの勝ちとなります。同点の場合最終ラウンドでより先番の人の勝ちとなります。

## 6.3人用ルール

準備の際に中央のカードとは別に、表向き1枚、裏向き1枚をNPC(4人目の人物)として置きます。あとは4人用ルールと同様にゲームを進行します。 ※NPCへ投票チップを置くことができます。



## 7.クレジット

- ◆ゲーム製作: 楠本 舗
- ◆ゲームデザイン: クスノキネコ
- ◆メール: kusunoki9honpo@gmail.com
- ◆Twitter: kusunoki\_honpo
- ◆内容物の不足、ルールの疑問点といったお問い合わせは上記連絡先へお願いします(Twitterの方がレスポンス早いです)
- ◆Twitterで #ナナジウム で感想を頂けると泣いて喜びます。